

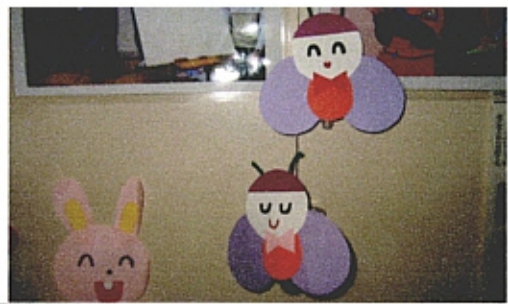
◇指導のねらい

環境を通して行われる幼児教育において、季節の移り変わり等を感じられる壁面づくりは重要なポイントになる。

全盲や光覚の幼児も楽しめ、自分から触ってみたいくなる掲示物づくりを心掛けた。秋の掲示では鈴の音ができるものや押すと音が出るものを取り入れた。

◇指導の評価

いろいろな音の出る鈴虫を様々な高さで7つ設置した。はじめは一つずつ音を出して遊んでいたが、友達が他の鈴虫の音を鳴らすので、全盲の幼児も他の鈴虫の存在に気づき、探すようになった。鈴虫を数えたり、鈴虫に話しかけたり、鈴虫と歌ったりして楽しむ姿が見られた。



◇指導方法

幼稚部入口付近の壁面を使い、幼児が立って手で触れる高さに設置した。

伝い歩きをして移動する幼児が必ず触る壁面を使い、自分で見つけて触ったり、音を出したりすることができるようにする。